

六角川水系緊急治水対策プロジェクト

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進(流域における対策)

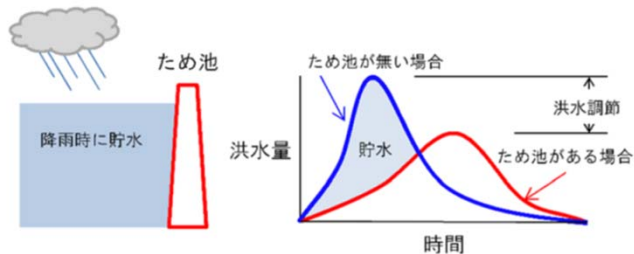
支川の流出抑制・氾濫抑制の取組（ため池等既存施設の有効活用）

○支川の流出抑制・氾濫抑制の取組として、関係者と調整の上、ため池等既存施設の有効活用を進めていきます。

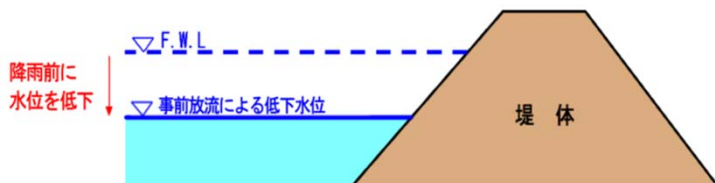
今後の対策の方向性と内容

ため池の洪水調節

降雨時の流水をため池に貯留することにより、下流域の洪水を軽減している。



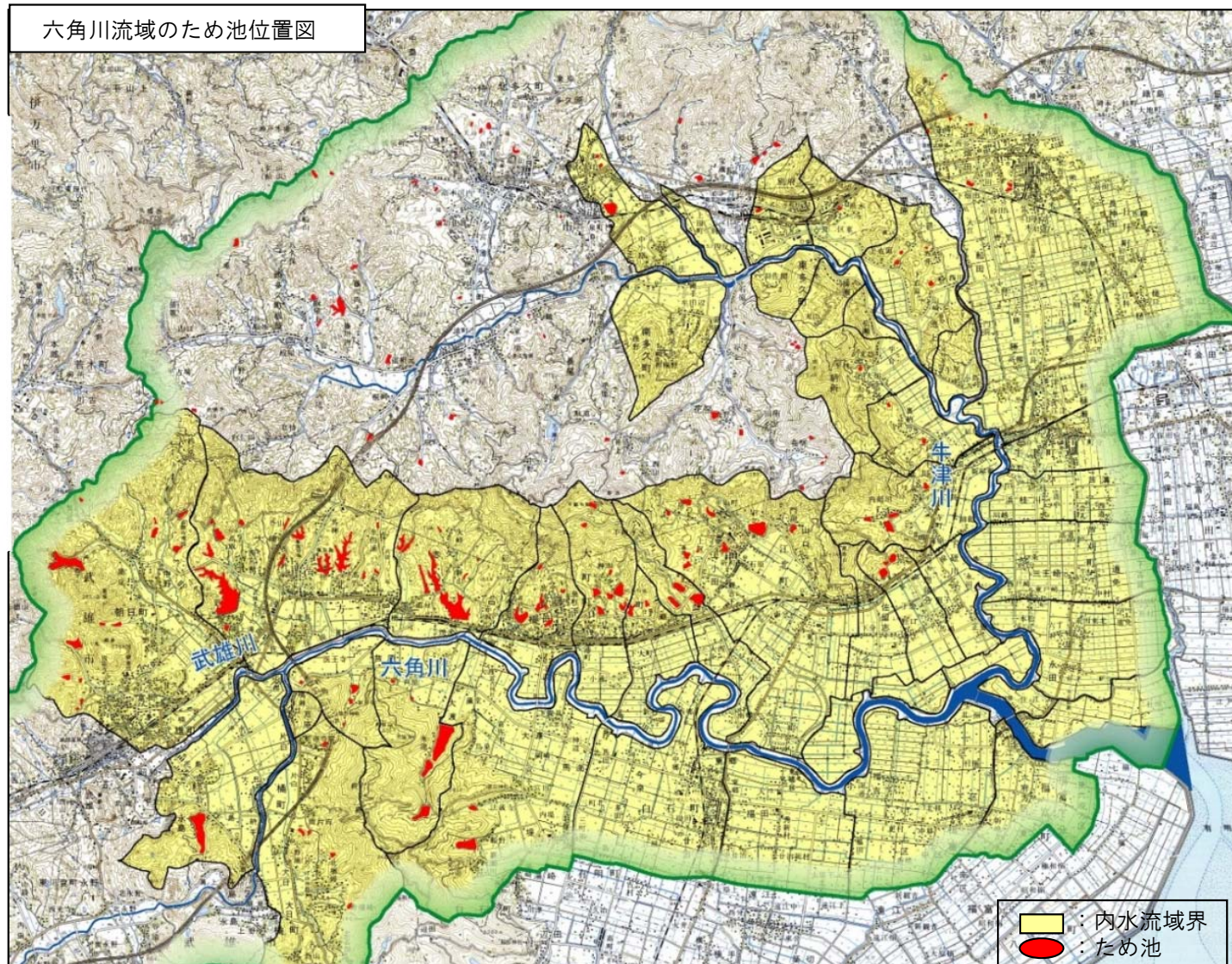
降雨予測等を基にため池の貯留水を事前に放流し、空き容量を確保する



事前放流イメージ

出典：ため池の洪水調節機能強化対策の手引き
(農林水産省 農村振興局)

六角川流域のため池位置図



※1ため池は、内水流域に数多く存在する

※2具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

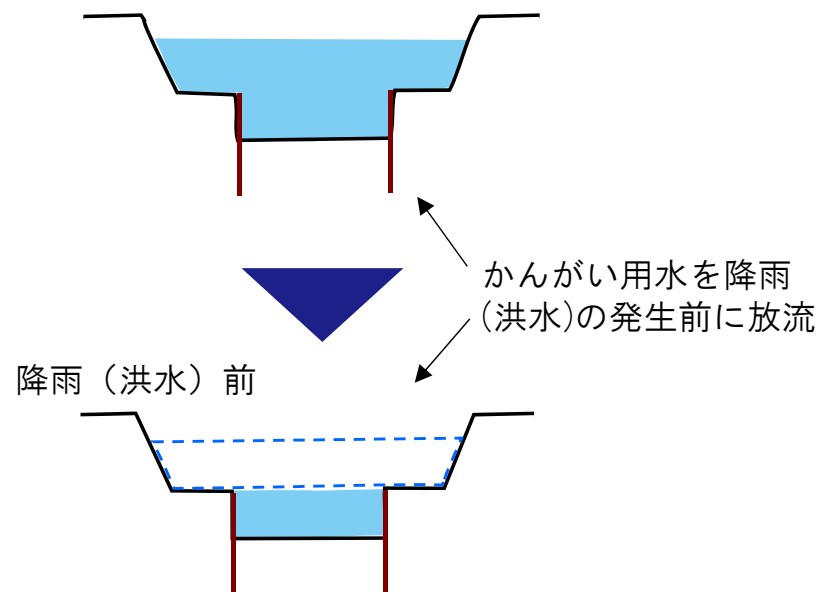
支川の流出抑制・氾濫抑制の取組（クリークを活用した雨水貯留容量の確保）

○支川の流出抑制・氾濫抑制の取組として、関係者と調整の上、クリークを活用した雨水貯留容量の確保を進めていきます。

今後の対策の方向性と内容

クリーク

通常時



嘉瀬川ダムによるかんがい用水の安定供給により、降雨（洪水）の事前に水路から河川に放流することが可能となり、貯水容量を確保し、浸水被害を軽減できるようになった。



流域内の水路状況（白石町）

— : 既設水路



※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

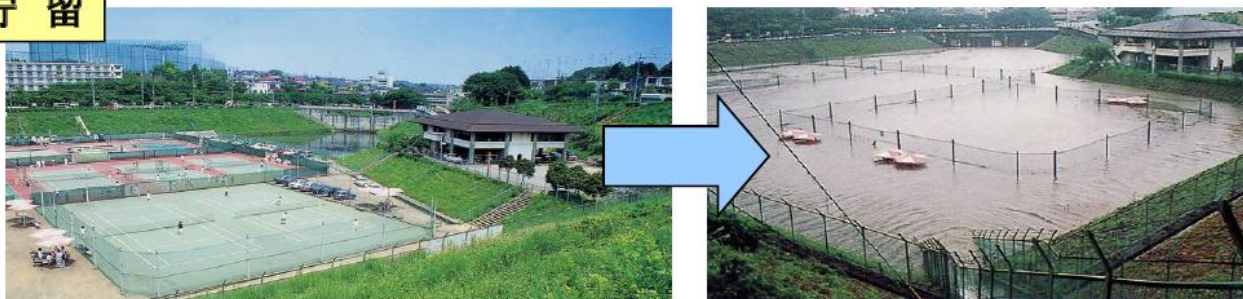
支川の流出抑制・氾濫抑制の取組（雨水貯留施設、透水性舗装の整備等）

○支川の流出抑制・氾濫抑制の取組として、雨水貯留施設、透水性舗装の整備等を進めていきます。

今後の対策の方向性と内容

雨水貯留施設

公園貯留



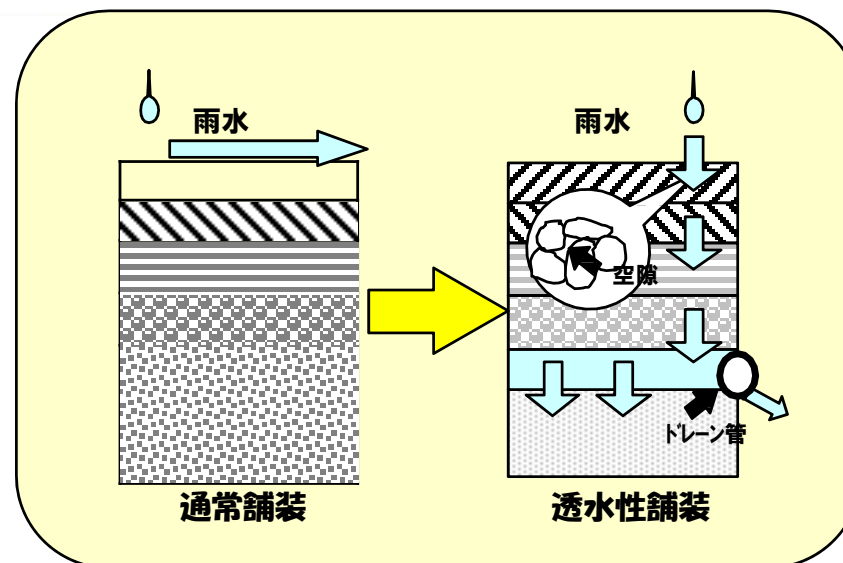
各戸貯留



透水性舗装



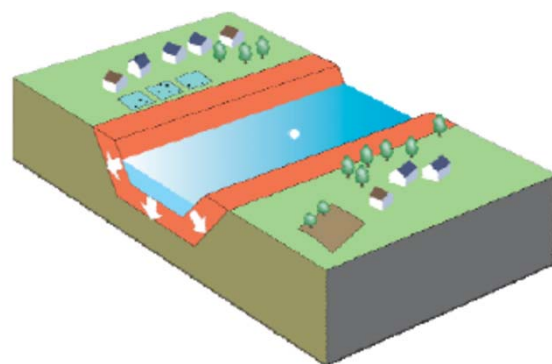
車道（軽交通車道等）



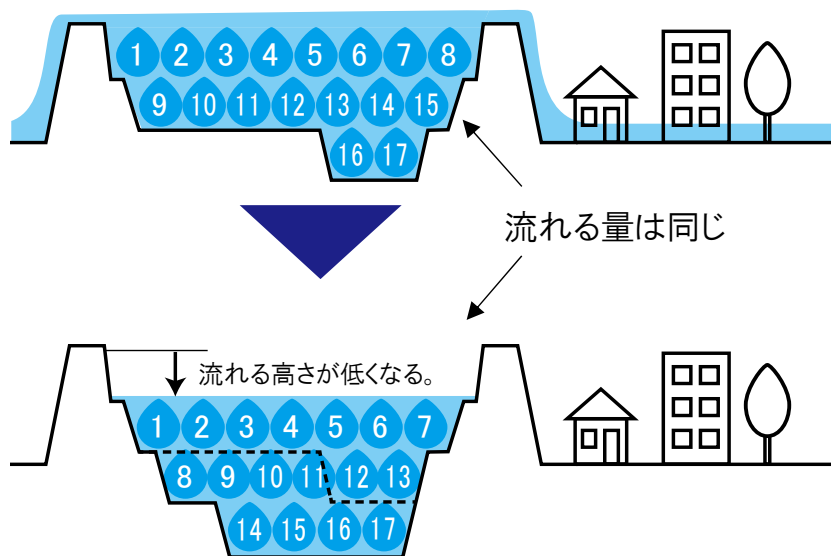
支川の流出抑制・氾濫抑制の取組（支川・水路における氾濫抑制対策）

○支川の流出抑制・氾濫抑制の取組として、支川・水路における掘削や築堤等による氾濫抑制対策を進めていきます。

今後の対策の方向性と内容

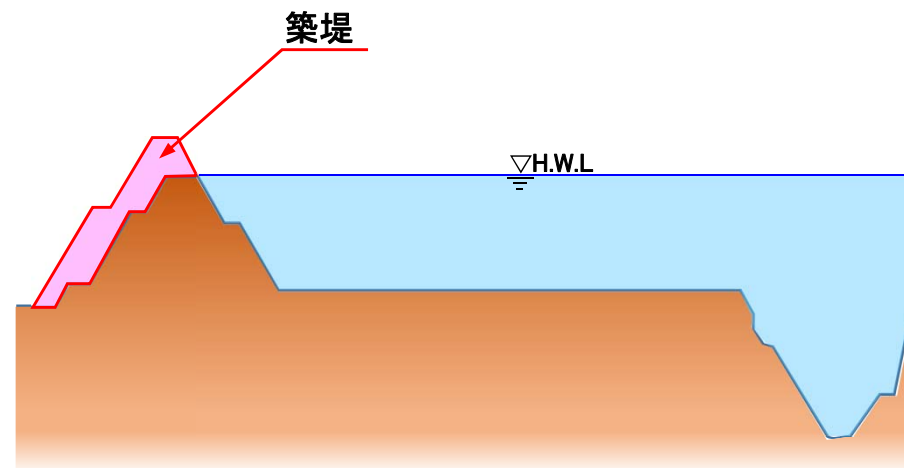


氾濫抑制対策（河道掘削）



川の中の底を掘ると、流れる水の量が同じでも、流れる水の高さが低くなり、安全に流れるようになる。

氾濫抑制対策（築堤）



既存排水機場の耐水化の取組（排水機場の耐水化の推進）

○既存排水機場の耐水化の取組として、排水機場の耐水化を進めていきます。

今後の対策の方向性と内容

排水機場の耐水化



▲ H2年7月洪水を契機にコンクリート等による防水壁を設置

※令和元年8月豪雨の内水氾濫時にも排水機場の浸水防止



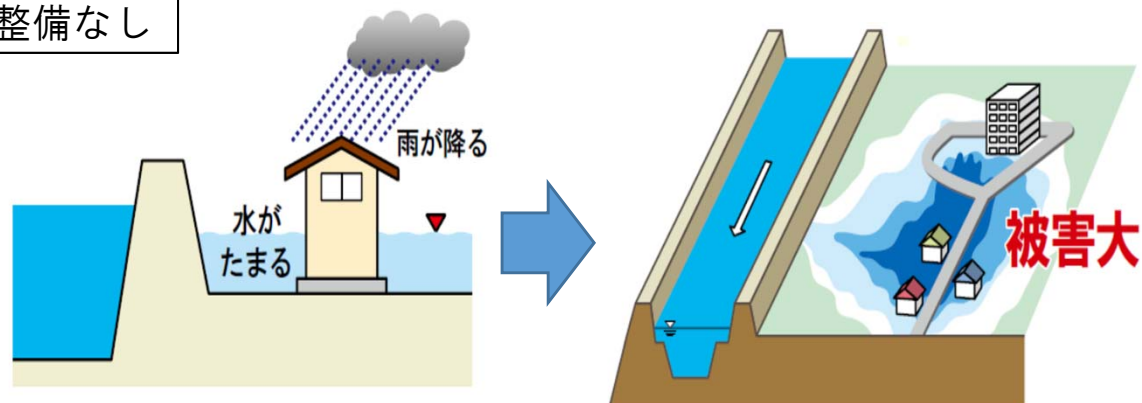
浸水被害を軽減する取組（排水機場等の整備）

○浸水被害を軽減する取組として、土地利用状況等を勘案した上で、まちづくりと一体となった排水機場等の整備や放流先の見直しを行っていきます。

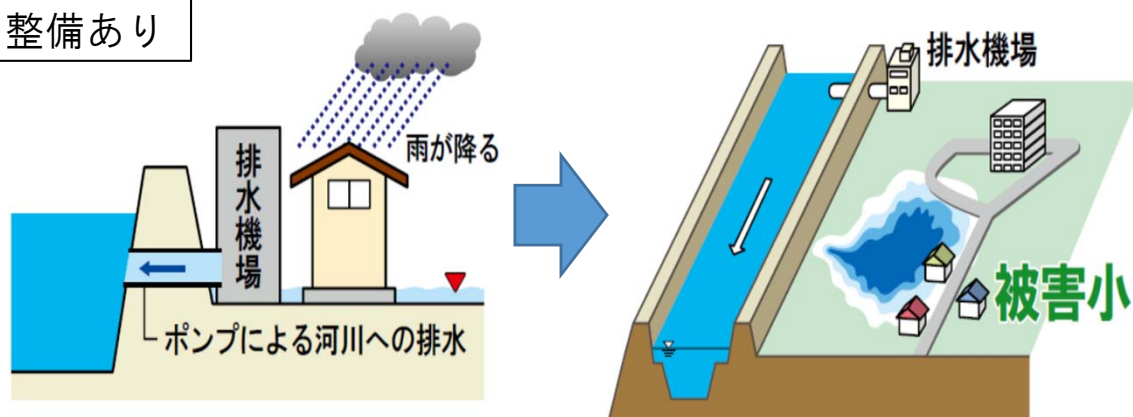
今後の対策の方向性と内容

排水機場

整備なし



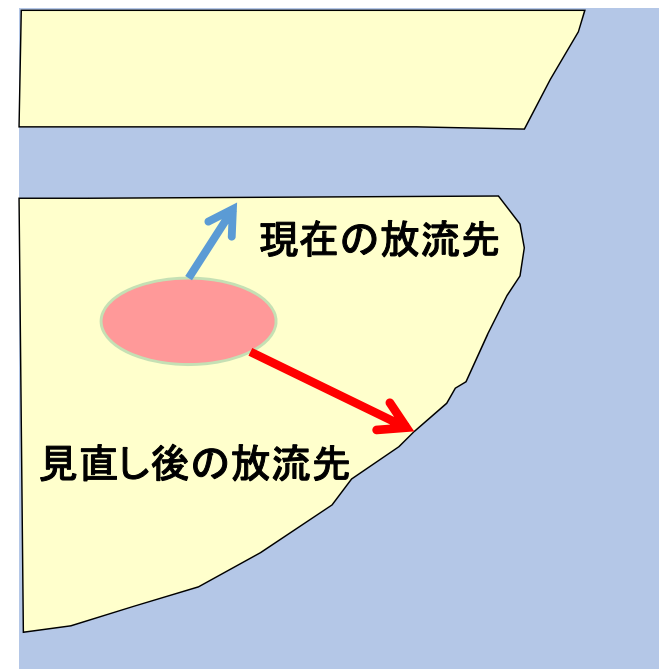
整備あり



氾濫抑制対策（水路整備等）

- ・低平地の排水をスムーズにするため放流先を見直す

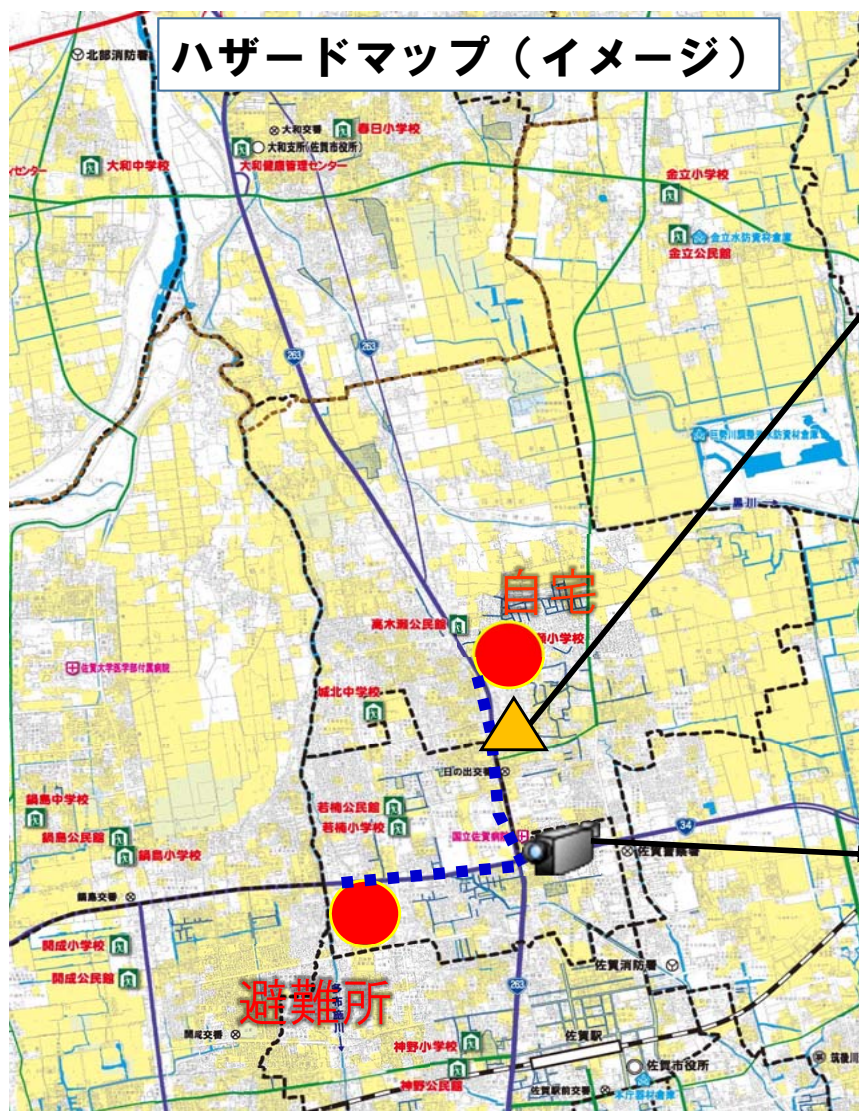
<イメージ図>



”逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備（水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信）

○ ”逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備として、水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信を行ない、住民の適切な避難行動を支援します。

今後の対策の方向性と内容



水位計等による浸水深の情報把握



・携帯やスマートフォン等により、リアルタイムで支流や水路の水位情報の把握が可能となり、住民の避難行動開始の目安になります。

空間監視カメラによる浸水深の情報把握



・携帯やスマートフォン等により、リアルタイムで臨場感のある映像情報が把握可能となり、住民の安全な避難につなげます。

”逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備（浸水予測情報等の発信）

○”逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備として、氾濫情報、浸水予測情報等の発信を行ない、住民の安全な避難行動を支援します。

今後の対策の方向性と内容

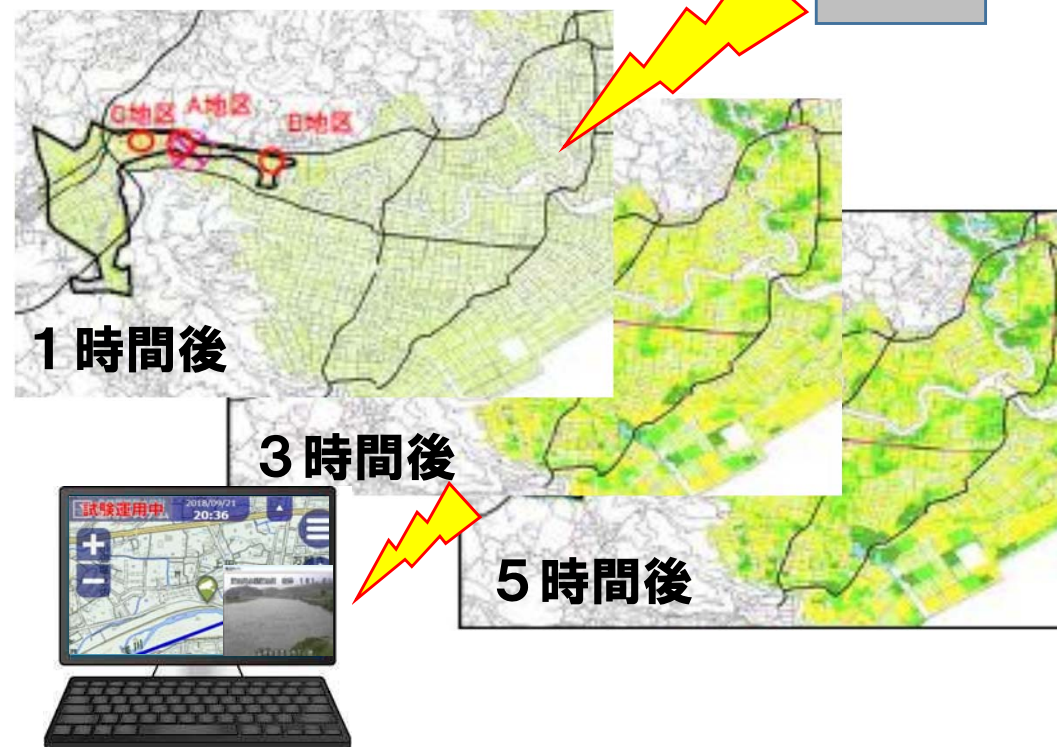
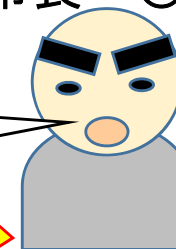
浸水予測システムの構築と情報発信

- リアルタイムに支川等の氾濫の発生状況や浸水予測を把握可能なシステムを構築し、その情報を住民に向けて発信することで、避難遅れゼロを目指します。



3時間後には、内水氾濫で避難が難しくなる！
〇〇地区の住民へ避難指示を出そう！！！！

〇〇市長・〇〇町長



浸水予測システム

※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

”逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備（排水機場の運転調整情報の発信）

○ ”逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備として、地域住民に対する排水機場の運転調整情報等の発信をこれまで以上に行っていきます。

今後の対策の方向性と内容

排水機場の運転調整情報の発信

- ・排水機場の運転調整は、河川水位の上昇により堤防決壊の恐れが生じた場合に実施されます。住民の円滑な避難行動に資するため、排水機場の運転調整の可能性をきめ細かく住民に提供します。

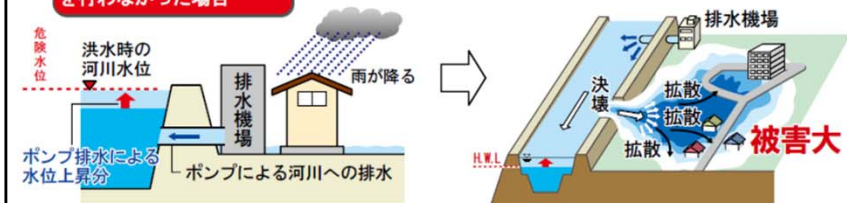
カメラ画像による河川情報等の発信

- ・住民の速やかな避難行動に資するため、カメラ画像等の情報を発信します。



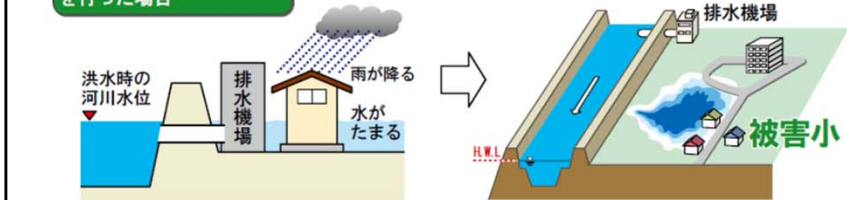
六角川水系の運転調整の概要

洪水時にポンプの運転調整を行わなかった場合



河川の水位が高くなり、決壊や越水による危険が高くなります

洪水時にポンプの運転調整を行った場合



河川の水位上昇を抑制するため、ポンプを一時的に停止し、内水排水を規制します



※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。